

ごあいさつ



群馬県テニス協会 会長

澁澤英男

第33回関東実業団対抗テニスリーグ戦の群馬県開催にあたり、群馬県テニス協会として各都県代表選手及び関係各位のご来県を心から歓迎申し上げます。

本県は、地元の上毛カルタに「鶴舞う形の群馬県」とあるように、鶴の形をしており自然の多い地形です。加えて有名な温泉が多く、同上毛カルタでは「伊香保温泉日本の名湯」と詠っています。また、1872年から開業した日本初の本格的な機械製糸の工場である「富岡製糸場」が世界遺産に登録され多くの観光客で賑わっています。

また、群馬県のテニスは、郷土出身で日本テニス界の先駆者である清水善造、佐藤次郎両氏が、世界のトッププレイヤーとして活躍したのがスタートであり、群馬県民の誇りでもあります。と同時に、両氏に負けじと県内全選手が汗を流して頑張っているところでもあります。本大会の出場選手も、各都県のトッププレイヤーであり、世界で活躍されることが期待されている選手ばかりであると考えます。改めて今後の益々のご活躍をお祈り申し上げるところでございます。

そのために、本大会の競技運営・管理につきましては、関東ブロック代表選手団の皆様が十分に力を発揮して頂きますよう、しっかり準備をし誠意をもって取り組んで参りたいと考えておりますのでよろしくお願い申し上げます。

さて、本大会は33回を迎え歴史ある大会となりました。しかしながら、現在の社会状況・経済状況により選手への様々な負担が大きく、大会環境が大変厳しくなっていると思われれます。特に、大会参加に関わる負担も大変なものがあると思われれます。群馬県テニス協会といたしましても、様々な課題を解決するために実業団委員と意見交換をし進めているわけですが、まだまだ不十分であり今後も継続して少しでも良い環境づくりに努めて参りたいと考えています。

結びに、今年度の大会が、昨年度までの成果を生かしたものとなり、本大会を勝ち抜かれ全国実業団大会において活躍されることを祈念すると共に、本大会の開催にあたりご支援・ご協力を賜りました関係各位に深く感謝と御礼を申し上げ、歓迎のあいさつといたします。